

【ライフサポートファイルを作ろう会&茶話会】

10/11、11/10、12/9、1/10、2/10、3/10 参加者延べ34名

松戸市でもライフサポートファイルの周知が進んでいますが、びーんず Labo では毎月 10 日に「ライフサポートファイルを作ろう会&茶話会」を、毎回和気あいあいと行っています。放課後デイの支援者の方が参加して下さった日もあり、放課後デイを卒業していった子たちの話などを聞くことができました。ライフサポートファイルを作ることが目的ではありませんが、茶話会では支援が必要な子を育てている親同士でおしゃべりすることもできます。先輩ママの話を聞いたり親同士がつながったりすることは子育ての力になるので、今後も多くの方に参加していただけるよう、スタッフ一同お待ちしております。

今後の活動予定

☆就学・進路相談会 (義務教育編) 6月下旬 (進学編) 10月上旬

両日とも、10時～11時半頃まで

お申し込みの詳細は別紙、またはHPをご確認ください。

☆ライフサポートファイルを作ろう会&茶話会 (茶話会はオンラインでの参加可)

5月10日(水) 6月9日(金) 7月10日(月) (8月以降はHP参照)

LSF 作ろう会 10時～ 先着5名様・要予約 参加費 100円

茶話会 11時～ 同じ立場の保護者同士、情報交換しましょう。

お申込みはEmailからどうぞ。

☆ペアレントサポートワークショップ (オンライン参加も可)

9月～11月 (全5回) 日程、詳細は、別紙、またはHPをご確認ください。

私たち **NPO 法人子ども子育て・発達支援研究会**は、障害や不登校、引きこもりなどで、地域生活に困難のある子ども・若者に対し、福祉、教育、療育の視点を持った支援を行うとともに、その健全な発達支援活動を地域住民や地域団体に普及させ、公益の増進に寄与することを目的として、活動しています！

発行者：NPO 法人子ども子育て・発達支援研究会 広報委員会

Add. …千葉県松戸市小金原 9-5-42 びーんず Labo

Email … kodomokosodate.matsudo@gmail.com

HP … <http://www.kodomokosodate-kenkyukai.org>



Jelly Beans News

発行日 2023年4月28日

第10号



ジェリー・ビーンズはアメリカ生まれのポップなお菓子。箱を開けると、カラフルなお豆たちが飛び出します。ひとつひとつ違うから、キラキラ光ってきれいなんです。



代表挨拶

今年の桜は早々と満開を迎え、入学式には柔らかな緑の木漏れ日が新入生を迎えています。今年もびーんずが関わる子どもたちの何人かが新入学を迎え、誇らしげな入学式の一枚を見せてくれます。そのたびに子どもたちの大きな成長と、それを支えたご家族をはじめとする周囲の支援者の皆さまのご苦労と深い子どもたちに対する愛情を感じます。楽しい学校生活になりますように！

さて、令和5年4月1日より「**子ども基本法**」が施行され、それに伴い「**子ども家庭庁**」が創設されました。「子ども基本法」は全ての子どもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、子ども政策を総合的に推進することを目的とし、「子ども家庭庁」は以下の**理念**をもとに、子ども政策を推し進める司令塔として設置されました。

以下、子ども家庭庁の「子ども基本法とは？」というパンフレットからの抜粋です。少し長いのですが、太字を中心に読んでみましょう！

<子ども基本法の理念>

- 1, すべての子どもは大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと。
- 2, すべての子どもは、大事に育てられ、生活が守られ、愛され、保護される権利が守られ、平等に教育を受けられること。
- 3, 年齢や発達の程度により、**自分に直接関係することに意見を言えたり**、社会のさまざまな活動に参加できること。
- 4, すべての子どもは年齢や発達の程度に応じて、**意見が尊重され**、子どもの今とこれからにとって最もよいことが優先して考えられること。
- 5, **子育ては家庭を基本としながら、そのサポートが十分に行われ**、家庭で育つことが難しい子どもも、家庭と同様の環境が確保されること。
- 6, **家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会をつくること**

「**子ども基本法**」とは、これまでの児童に関する条約や法律（児童福祉法や教育基本法など）に掲げられていた内容を理念として一つにまとめたものです。でもその中で、これまでは一般的に言われていなかった事が太字の部分です。「子どもたちが自分の意見を言え、その意見が尊重される社会」、「家庭への子育て支援が十分に行われる社会」そして最後に「**家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会**」をつくる事に**子ども家庭庁**を中心に社会全体で取り組んでいけると良いな、と思いました。

子どもが小さくて大変なころには、もしかしたら子育てに夢なんか持てない、喜びを感じる暇など無いかもしれません。でも私は子育ては「らせん階段」だと思っています。あまり変化の無い日常の風景をゆっくり一段ずつ登り、ふと止まって見下ろすと、結構高くまで登った事に気づくものです。これからも子ども達とご家族と、一緒に登る階段を見守っていただけたいな、と思います。

NPO 法人子ども子育て・発達支援研究会
代表理事 富永 文子





【ペアレントサポートワークショップ】

9/14(水)、9/28(水)、10/12(水)、10/26(水)、11/9(水) 参加者6名



使用したテキスト↑

アイディアグッズ マグネットボード↓



目標行動（帰宅後にやること）を一つずつマグネットに書き見える化（左）終わったら右にマグネットを移す。

ペアレントサポートワークショップとは、子どもが今できている「よい行動」をさらに増やし、新しい「よい行動」も引き出すためにできる工夫を、参加者みんなで考え各家庭で実践するワークショップです。千葉県発達障害者支援センターCASより講師の先生をお迎えし、全5回で開催しました。

今年度は、小1、小3、小6の保護者がそれぞれ2名ずつで6名の参加でした。「よい行動」をひきだすために「ほめる」のですが、子どもの学年があがるほど、ほめても素直に喜んでもらえません。「ほめるとは、その子にとってプラスの状況を作ること」という講師の先生のアドバイスをもとに、子どもの年齢、性格にあったほめ方をみんなで考え実践しました。最後は参加者全員が、自分の子どもに合ったほめ方を見つけ、「お手伝いをする」などのよい行動を増やすことができました。

「他のお母さんの話を聞くことができて良かった。」という声もあり、楽しく有意義なワークショップになりました。

～参加者の感想～

・とても勉強になりました。「ほめる」は意識してないとわすれてしまう。今まではどうしても子どもの困ったことの方に意識がいつてしまっていたので反省しました。叱るよりほめる方がむずかしく、労力がいるけれど、意識してほめるようにしていきたいです。(小1 保護者)

・我が子は言葉でほめるより、チェック表に○をつけてあげるほうが喜び、○が貯まったらお給料袋でお小遣いがもらえるというシステムにしたら、やる気をだして頑張る子ということがわかりました。全5回でしたが、負担なく取り組めて、楽しくできました。(小3 保護者)



・おてつだいをなかなかしてくれなかったけど、このワークショップに参加して、おてつだいもルーティン化するとできるようになっていくというやり方がわかりました。これからも続けてやっていきたいです。(小6 保護者)

【第10回まつど発達支援フェア】

2月12日(日) 参加者 サテライト会場41名 オンライン57デバイス



「まつど発達支援フェア」はおかげさまで今回第10回を迎えました。今回のテーマは※「きょうだい」です。オープニングパフォーマンスは3組のアーティストのきょうだいアンサンブル、メインイベントは映画「僕とオトウト」上映会、映画鑑賞後には高木佑透監督の講演、そして監督と「きょうだい座談会」を行いました。

サテライト会場には多くの方がお越し下さり、オンラインでは北海道や長崎にお住まいの方もご参加くださいました。障害を持つ人とその「きょうだい」さんも支えていける社会になるようにしたいですね。開催にご協力いただいた方々、参加して下さったみなさま、ありがとうございました。

※「きょうだい」：障害のある人の兄弟姉妹の事

～参加者の感想～

・きょうだい児に対しての理解を深めることができた反面、きょうだい児という括りでも本当に広いんだと知りました。当事者の影に隠れてしまいやすい存在であり、きょうだい児でありヤングケアラーになりやすい存在。きょうだい児の方々が歩まれる人生には、監督も含めて障害を持たれたごきょうだいの存在ゆえに切ない寂しい苦しい思いもされていた(いる)のではないかと思いを馳せました。今は乗り越えられた方や今尚苦しい思いをされていらっしゃる方達、どちらにもきょうだい会の存在を知っていただきたい。ご自身の人生を歩むための場所や人に出会ってほしいと思いました。今後は当事者だけでなく、きょうだいという存在の方たちにとっても色々な情報を得て、その人らしく暮らせるようになってほしいです。良い機会をいただき、ありがとうございました。(保護者)

・私も監督と同世代(同じ歳)、同じく自閉症の弟がいます。とてもリアルでした。共感できる部分もありません。違ふなと思う所もあり、自分はもっと弟と向き合った方が良いのか?とも考えましたが、映画のトークセッションをみて、色んなきょうだいの形があって良いのだと安心しました。他の“きょうだい”の話をきくことができたのはとても貴重な機会となりました。(きょうだい)



オープニングパフォーマンス



高木佑透監督講演



きょうだい座談会の様子



サテライト会場の様子